

令和8年度日本大学生産工学部土木工学科 総合型選抜第1期(課題型) 課題

注意事項

1. 課題はプレゼンテーションです。
2. 下記内容に従ってプレゼンテーション動画を作成・提出してください。
3. 本用紙の返送は不要です。

課題

【課題】

テーマ：社会における土木の役割

土木工学は、道路、鉄道、空港、港湾、河川、ライフラインなど、「社会インフラ」と呼ばれる施設、構造物のデザイン（計画・設計）およびマネジメント（施工、維持管理）を担い、バクテリアからロボット、AIまで、あらゆる最先端技術を駆使して人々の安全と快適を実現する『総合工学』です。

さて、近年、社会構造や自然環境、生活様式などの変化に伴って、土木技術者の活躍が求められる範囲は益々多角化し、拡大しています。例えば、当学科の履修モデルである都市・地域、環境・景観のデザイン、防災・減災、社会基盤のマネジメントを基軸として、「人口減少や少子高齢化に適應した快適なまちづくり」「気候変動や自然災害に對應した強靱なまちづくり」「自然環境や景観に調和した美しいまちづくり」、さらに「都市機能の維持再生や国際協力・支援」など、未来のまちづくりを通じた社会貢献が期待されています。

そこで、これまでの様々な学びや経験、探求学習等の成果を活かし、**以下(1)～(4)のいずれかの視点からあなたが関心を抱く社会課題を1つ挙げ、その解決に向け、これからの土木（構造物、技術者など）に求められる機能や性能、知識や能力などを自由に展望し、提案してください。**

- (1) 都市・地域デザイン （まちづくり・都市計画、スマートシティ、地方創生など）
- (2) 環境・景観デザイン （環境・景観保全、グリーンインフラ、資源循環など）
- (3) 自然災害マネジメント （防災・減災、強靱化プロジェクト、復旧・復興計画など）
- (4) 社会基盤マネジメント （社会基盤整備、IT・AI活用、インフラメンテナンスなど）

※課題と展望・提案に関して、5分以内のプレゼンテーション動画で作成・提出してください。

※当学科ホームページの「高校生応援特設ページ」「あれもドボク、これもドボク」が参考となります。

本課題の公開から出願までの期間（7月11日（金）～10月8日（水））では、下記の【問い合わせ先】において出願や課題に関する疑問・質問等に対応していますので、不明な点、不安な点などあれば気軽にご相談ください。また、課題の資料や動画に関して、上記期間中、評価基準に沿って「プレ評価」と「アドバイス」（課題フォローアップ期間：8月19日（火）～9月19日（金））をさせていただきます。上記テーマに関する現状と課題は、オープンキャンパスの模擬授業において講義しています。課題への「プレ評価」と「アドバイス」の方法に関する詳細および講義動画は土木工学科のホームページで公開していますので参考としてください。（土木工学科ホームページ： <http://www.civil.cit.nihon-u.ac.jp/>）

【動画の内容】

以下の内容構成により、5分以内のプレゼンテーション動画を作成してください。

1. 出身高校名と志願者氏名
2. 最も興味深いテーマ（社会課題）の選定理由とその概要（どうして？、どんな課題？）
3. 着目した社会課題の解決に向けて「土木」に求められる役割や性能・機能・技能（どうすれば？）
4. 提案した課題解決策に対して自分はどのように取り組みますか（将来の在りたい姿）

【動画の作成・提出方法】

- ① スマートフォンやビデオカメラなどでプレゼンテーション動画を撮影してください。
- ② 撮影した動画をUSB に保存し、USBの表面に志願者氏名を記入してください。
- ③ 出願書類にUSBを同封して郵送により、提出してください。

（注意事項）

- ・動画の再生時間は全体で5分以内としてください。
- ・スライドやフリップなどの使用、映像や音声の編集などに制限はありません。
- ・パソコンで映像、音声とも再生されることを提出前に確認してください。
- ・提出されたUSBは試験資料として保管するため返却しません。
- ・生成AIを利用して課題全体を作成することは認めませんが、内容の一部を調べたりする際に利用することは可能です。ただし、生成AIを利用した場合は、プレゼンテーションの最後に使用した部分を必ず明記してください。また、生成AIによって得られた情報を使用する場合は、その内容に関するファクトチェックを、必ず自分自身で行ってください。

【問い合わせ先】

ご質問がございましたら下記アドレスまでお問い合わせください。
cit.civil-sogo@nihon-u.ac.jp （土木工学科総合型選抜質問・相談窓口）